UCHIDA

T714−01007A

取扱説明書

紙折機　　F－45N

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよく
お読みください。また、いつでもお読みになれる
よう保管場所を決めて、大切に保管してください。

株式会社 内田洋行

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。

●[安全上の注意]に使用されている絵表示の例。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(左図の場合は高温注意)

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は分解禁止)

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)

安全上の注意

⚠ 警告

	アース接続してください。 漏電した場合、感電を防止します。
	交流１００Ｖ周波数５０／６０Ｈｚで使用してください。電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、火災・故障の恐れがあります。周波数が範囲外の場合、火災・故障の恐れがあります。
	この機器の上に、物をのせないでください。機器内部に水・異物が入った場合火災・漏電の恐れがあります。
	電源コードの扱いには十分注意してください。 傷・破損・加工をしないでください。火災・感電の恐れがあります。 重量物をのせないでください。火災・感電の恐れがあります。 プラグやコードを無理に曲げないでください。火災・感電の恐れがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	この機器のカバーは外さないでください。感電やケガの恐れがあります。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。
	発熱していたり煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。そして販売店にご相談ください。
	電源コードが熱を持ったり、異臭がするなど異常があったらすぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。そして販売店にご相談ください。
	異物が機器に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。
	雷が近づいてきたら、落雷による火災・故障を防ぐためコンセントを抜いてください。

⚠ 注意

	髪の毛・ネクタイ・ネックレスなどを駆動部にたらさないでください。けがの原因になります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	連休等で、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

はじめに

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
この「取扱説明書」は、必要な時にいつでもお読みになれるように、保管場所を決めて大切に保管してください。
この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。
本書では、操作パネルのカバーを省略してあります。

目次

1.　設置前の注意事項

1.1　設置場所の確認

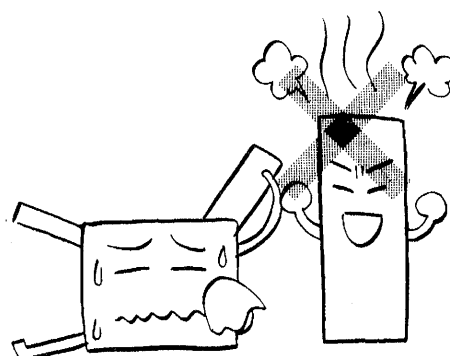
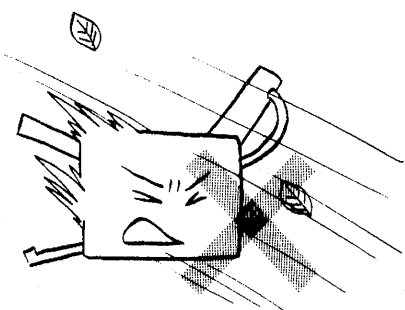
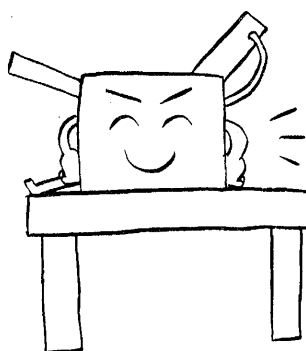
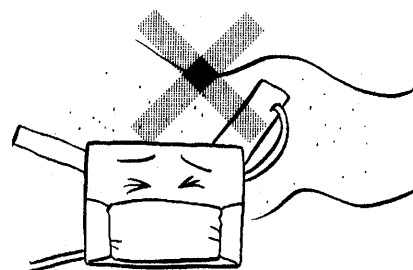
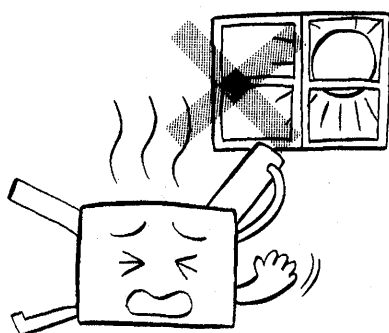
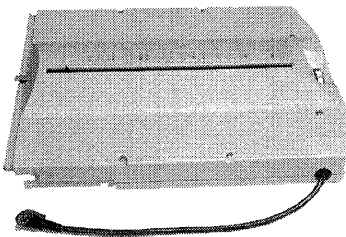
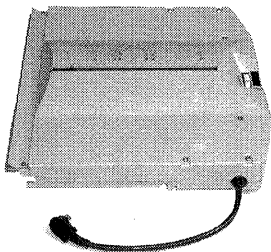
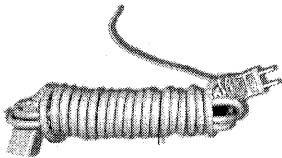
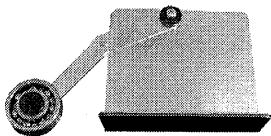
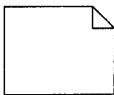
次の条件を満たした場所に設置してください。

●直射日光の当たる場所に設置しないでください。

●窓際は避けてください。

●湿気やほこりの多い場所は避けてください。

●風の当たるところ、熱を発生する機器付近での使用は避けてください。

●丈夫で水平な台又はテーブル上に設置してください。

1.2　搬入時の注意

●衝撃や激しい振動が製品本体に加わらないようにていねいに取り扱ってください。

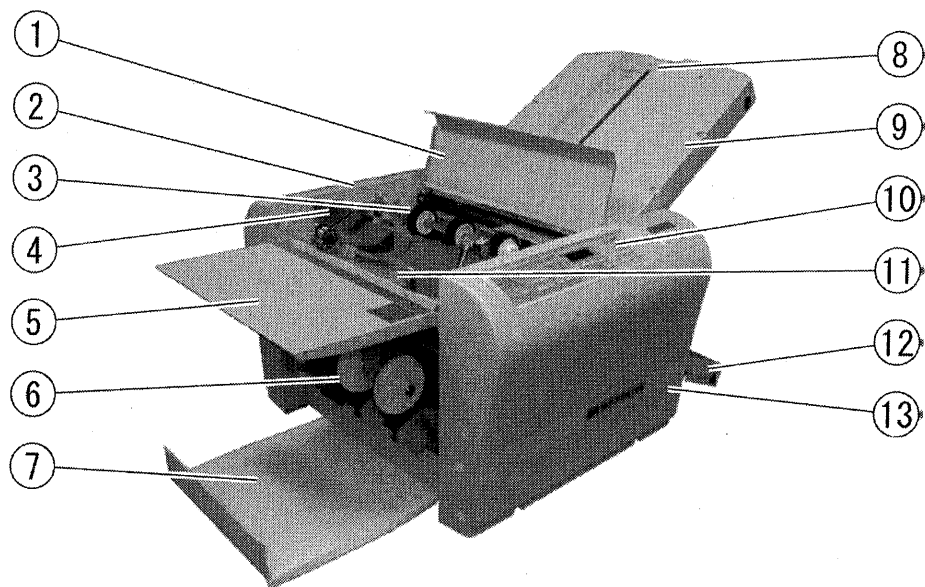
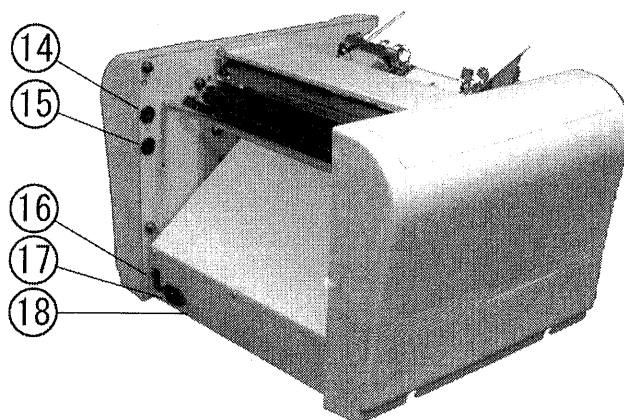
●保護手袋をし、２人で底面４隅をしっかり持って運搬してください。

１．３　付属品の種類・数量の確認

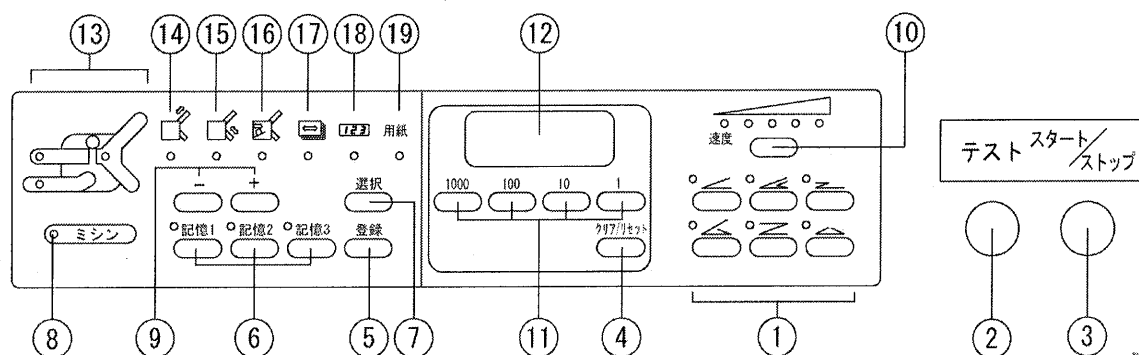
開梱したら、付属品の確認をしてください。
万一不足していたらすぐに販売店に連絡してください。
また、保証書の記入をお願いします。

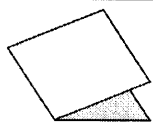
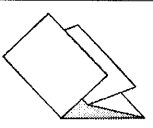
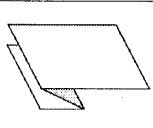
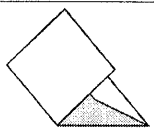
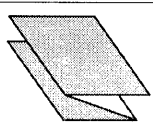
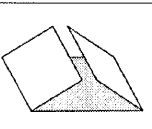
付属品	個数	図
テーブル１	１	
テーブル２	１	
電源コード 注意：形状は異なる場合があります	１	
補助用紙ガイド右・左	各１	
機械カバー	１	
取扱説明書 （保証書付）	１	

2． 製品各部の名称

2．1 外観

操作側

反操作側

番号	名 称	はたらき	番号	名 称	はたらき
①	ローラーカバー	開けると動作が停止	⑩	操作パネル	枚数設定など
②	左化粧カバー	メカ部の保護	⑪	給紙テーブル	用紙を載せる
③	給紙ローラー	用紙を1枚だけ給紙	⑫	テーブル2	2回目の折り
④	用紙ガイド	給紙時の曲りを防止	⑬	右化粧カバー	メカ部の保護
⑤	補助テーブル	大きい用紙を支える	⑭	テーブル1ソケット	テーブル 1 の制御ケーブルをつなぐ
⑥	排紙ローラー	折った用紙を整えて排出	⑮	テーブル2ソケット	テーブル 2 の制御ケーブルをつなぐ
⑦	排紙テーブル	折った用紙を蓄える	⑯	電源スイッチ	電源の入・切
⑧	ストッパー微調整ツマミ	折りずれを修正	⑰	インレット	電源コードをつなぐ
⑨	テーブル1	1回目の折り	⑱	ブレーカ	過電流保護

２．２　操作パネルシート部

番号	名称	はたらき
①	折形キー	２つ折り・４つ折りなど、６種類の折形を選択
②	テストキー	テスト折りを２枚（カウンタに影響なく２枚のみ折る）
③	スタート/ストップキー	スタートとストップ（押したままにすると給紙テーブルを上下できる）
④	クリア/リセットキー	カウンタをクリア・エラーをリセット
⑤	登録キー	調整後の折り位置を登録
⑥	記憶１／２／３キー	３種類の特殊折りの記憶
⑦	選択キー	カウンタ表示・テーブル１ストッパーピンの位置・テーブル２ストッパーピンの位置・排紙ローラーの位置・用紙長さ
⑧	ミシンモードランプ	オプションのミシンユニット装着時点灯
⑨	＋/―キー	テーブル１、テーブル２ストッパー位置調整・排紙ローラー位置調整
⑩	速度調整キー	速度を調整
⑪	数字キー	減算カウンタ時枚数・定形外用紙長さ入力
⑫	カウンタ	枚数・テーブル１，２ストッパーピンの位置・用紙寸法を表示
⑬	点検ランプ	用紙がなくなった時、給紙トラブル発生場所を表示
⑭	ﾃｰﾌﾞﾙ１ｽﾄｯﾊﾟｰ移動ﾓｰﾄﾞﾗﾝﾌﾟ	テーブル１ストッパー位置調整時点灯
⑮	ﾃｰﾌﾞﾙ２ｽﾄｯﾊﾟｰ移動ﾓｰﾄﾞﾗﾝﾌﾟ	テーブル２ストッパー位置調整時点灯
⑯	排紙ローラー移動モードランプ	排紙ローラー位置調整時点灯
⑰	用紙長さ入力モードランプ	用紙長さ入力時点灯
⑱	カウンタ入力モードランプ	枚数カウンタ時点灯
⑲	用紙サイズ入力モードランプ	用紙サイズ表示時点灯

３．　特に注意していただきたいこと

３．１　用語の定義

３．１．１　マーク解説

注意！　　注意していただきたいことです。
ポイント！　　知っていると便利なことです。

３．１．２　用語・折形解説

名　称	解　説
ジャム	用紙が機械内部で詰まること
重送	２枚以上重ねて給紙すること
スリップ	用紙が送り込まれないこと
原位置	テーブル１・２のストッパーがいちばん左側にあること （ストッパー微調整ツマミを右にみたとき）
さばく	用紙同士がはりついている状態をはがすこと

図						
折　形	２つ折り	４つ折り	片袖折り	内３つ折り	外３つ折り	観音折り

図の着色部は、給紙テーブルに用紙を上向きにセットしたときに折られた状態です。

３．２　特徴および使用目的

●高速で用紙を折ります。
●用紙サイズ検知・ストッパープレート移動・給紙テーブル上下・排紙ローラー移動は自動です。
●面倒な計算をしなくても用紙の長さと折形を入力するとストッパープレートが移動します。
●変形折りを３つ記憶できます。
●記憶内容は、折りテーブル１・２のストッパー位置・速度・排紙ローラー位置の３項目です。

３．３　使用しないとき

●電源プラグをコンセントからはずしてください。
●機械カバーを掛けてください。

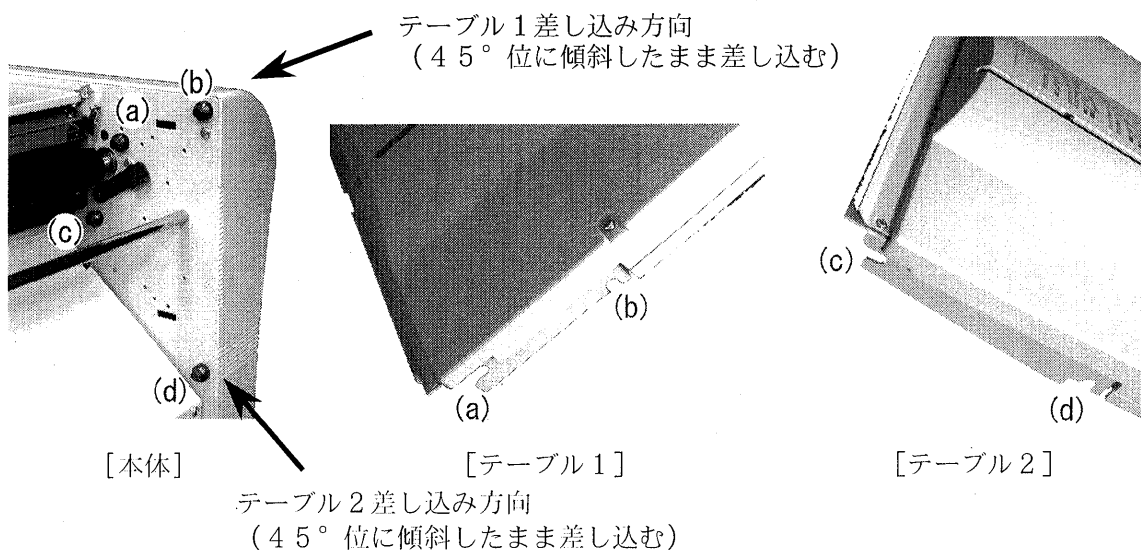
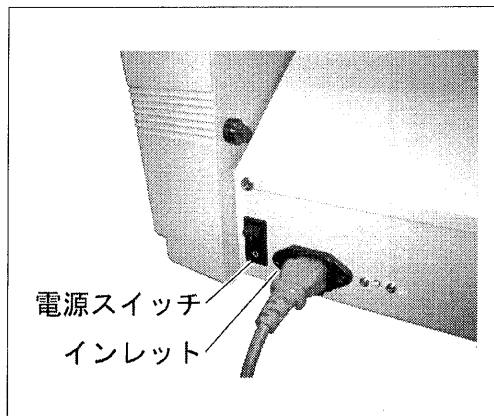
３．４　使用上の注意

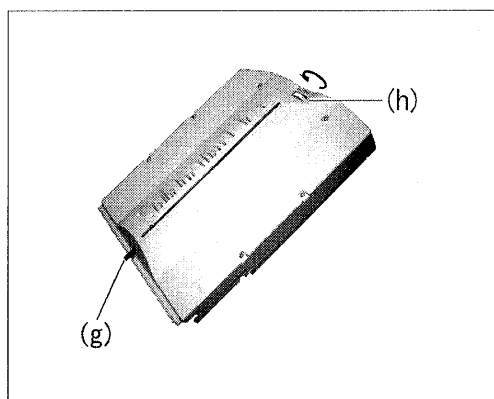
●ローラーカバーの開閉は中央を持ってください。用紙ガイドにはさまれる恐れがあります。
●特に重要な書類は事前に折りテストをし、折り位置の確認をしてください。
●理由を問わず、用紙の折ずれ・破損の補償はご容赦ください。

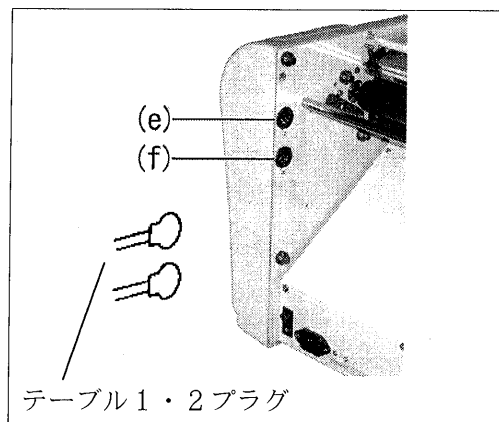
4．　使用前の準備

4．1　付属品を取付ける

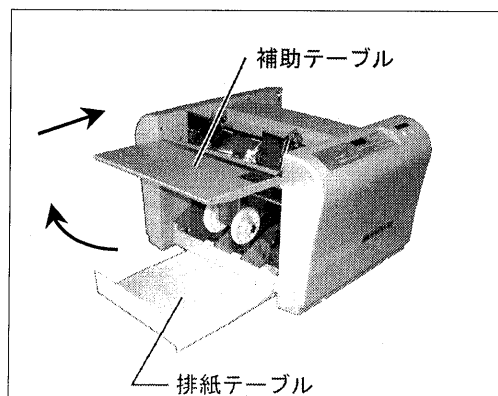
（1）電源コードをインレットに差し込みます。

［本体］　［テーブル１］　［テーブル２］

（２）テーブル１・２を本体に取付けます。テーブル２の（ｃ）を本体のピン（ｃ）に差し込んでから、（ｄ）を本体のピン（ｄ）に落とし込みます。テーブル１の（ａ）を本体のピン（ａ）に差し込んでから、（ｂ）を本体のピン（ｂ）に落とし込みます。

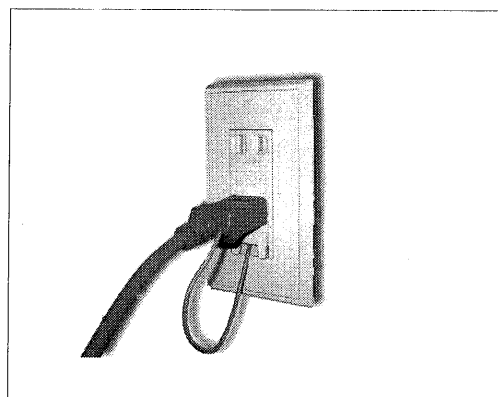
もしも（ｇ）押し板が飛び出ていたら、（ｈ）ストッパー微調整ツマミをまわして引っ込めてください。

（3）テーブル1プラグをコネクタ（e）、テーブル2プラグをコネクタ（f）に差し込みます。

注意！
コネクタには方向性があります。
無理に差し込むと故障の原因になります。

⚠ 注 意

テーブル1・2が正しくセットされているか確認してください。
外れてけがの原因になります。

（4）排紙テーブルを引き出し、補助テーブルを持ち上げるようにしてセットします。

（5）電源コードをコンセントに差し込みます。

注意！
必ずほどいて使用してください。
付属の電源コード以外は使用しないでください。
電源コードのアース線は必ず先端の絶縁被覆をむいて接地（アース）してください。

電源コードのプラグ形状は写真と異なる場合があります。

⚠ 警 告

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。

電源コードのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因になります。

（6）電源スイッチをオンにすると、テーブル1・2のストッパーが原点に移動します。

5.　使用方法

5．1　規格用紙（A３・A４・B４・B５等）の定形折り

※電源オンの直後の状態から説明します。

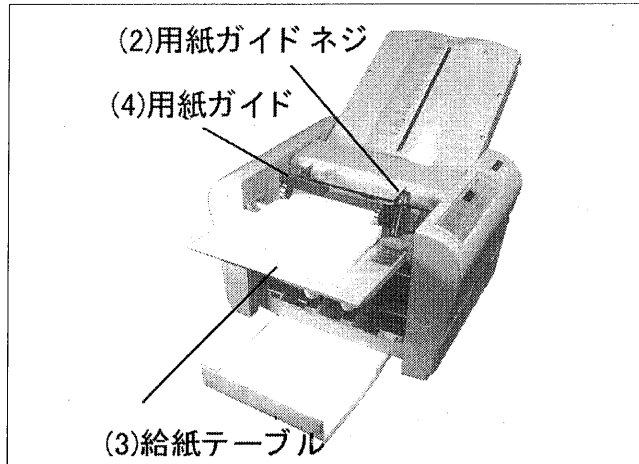
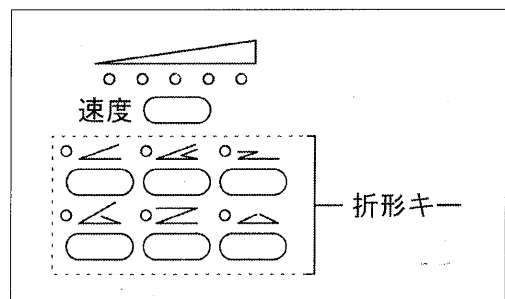
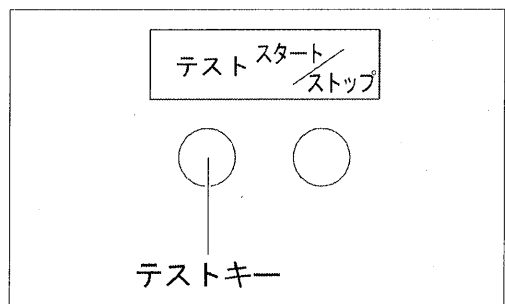
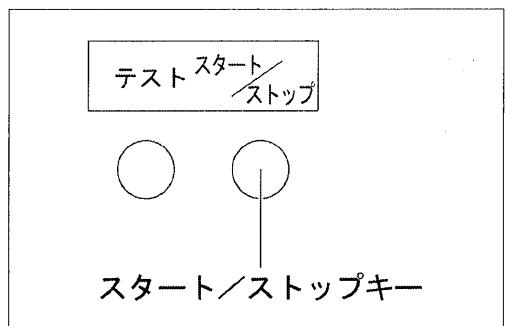
（1）規格サイズの用紙をセットします。

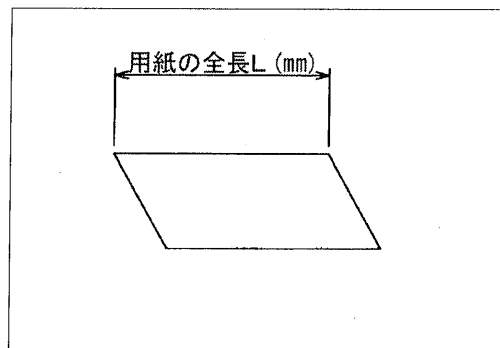
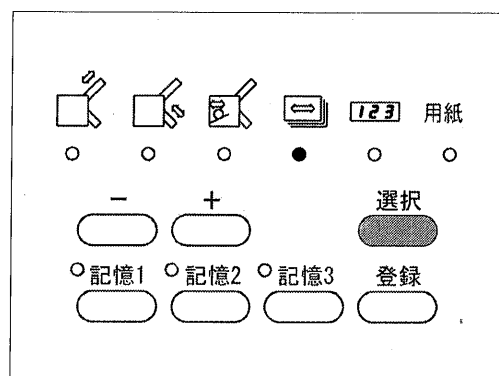
（2）用紙ガイドネジを緩めて用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

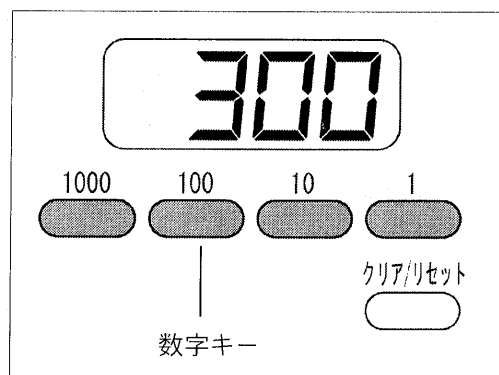
（3）印刷面を上（片袖折りは下）にして、きれいに揃えてから給紙テーブルにのせます。

（4）用紙ガイドを用紙に密着させて、用紙ガイドネジを締めます。

注意！

印刷直後の用紙はジャム・重送・スリップ・用紙のシワの原因になりますので、必ず乾いてから使用してください。

（5）折形を指定します。
　６種類（２つ折り・４つ折り・片袖折り・内３つ折り・外３つ折り・観音折り）の折形から指定します。希望の折形キーを押してください。

（6）試し折りをします。
　テストキーを押すと、２枚折ります。
　（カウンタは動きません）
　２枚目の折った用紙で仕上がりを確認します。
　折りずれを修正する場合
　　→１５ページ「**５．４　調整**」参照

（7）連続折りをします。
　スタート/ストップキーを押すと、給紙テーブルが上がり、連続して用紙を折ります。動作中に、もう一度押すと停止します。カウンタは加算していきます。
　クリアキーを押すとカウンタは「０」に戻ります。
　希望枚数のみ折りたい場合
　→２０ページ「**５．６　カウンタ**」参照
　排紙がスムーズにいかない場合
　→１９ページ「**５．４．３排紙ローラーの調整**」参照

５．２　規格外用紙（Ａ３・Ａ４・Ｂ４・Ｂ５等以外）の折り位置セットの方法

（１）用紙の長さを測ります。

（２）選択キーを押して、用紙長さ入力モードを選択します。
　　用紙長さ入力モードランプが点灯します。

（３）用紙の長さを数字キーで入力します。

１０００・・・１０００枚
１００・・・　１００枚
１０・・・　　１０枚
１・・・　　　１枚
で入力します。

用紙の長さと、テーブル１・２のストッパー位置の関係です。定形折り以外の折形の参考にしてください。

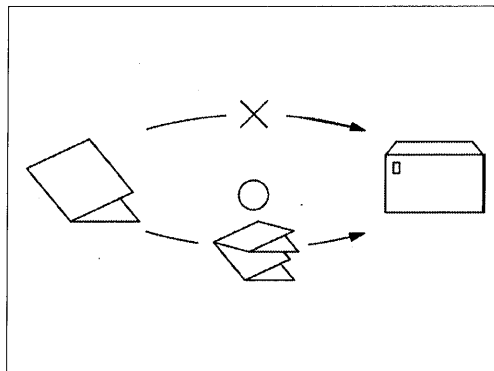
例）３００mmの用紙を外３つ折りにする場合。
テーブル１＝３００×（２／３Ｌ）＝２００mm
テーブル２＝３００×（１／３Ｌ）＝１００mm

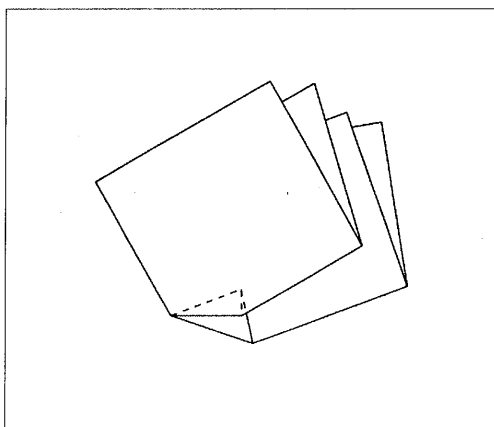
（単位　mm）

	テーブル１	テーブル２
２つ折り	原位置	１／２Ｌ
４つ折り	１／２Ｌ	１／４Ｌ
片袖折り	３／４Ｌ	１／４Ｌ
内３つ折り	１／３Ｌ	１／３Ｌ
外３つ折り	２／３Ｌ	１／３Ｌ
観音折り	１／４Ｌ	１／２Ｌ

5．3　クロス折り

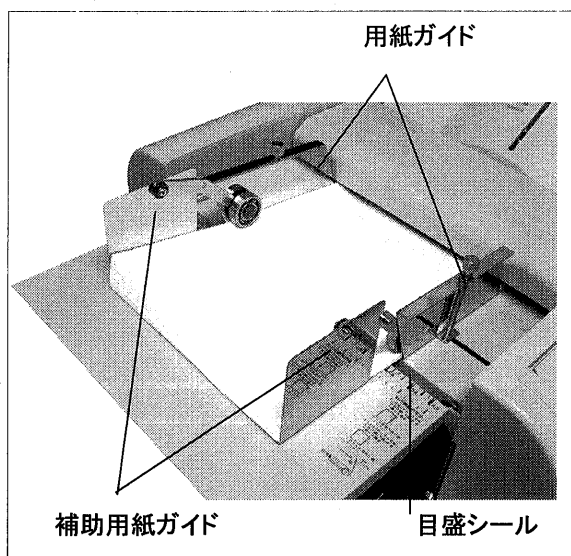
●クロス折りとは、２つ折りした用紙をさらに４つ折りや内３つ折りなどにすることをいいます。

●Ａ３の用紙を４つ折りしただけでは封筒に入らない場合などにクロス折りをします。

注意！
クロス折りに使用できる用紙は諸条件によって変動します。
- ●用紙種類
- ●用紙サイズ
- ●縦目・横目
- ●温度・湿度
- ●印刷状態

通常の折りより横ズレが大きくなったり、折った角が内側に折れる現象が起こる場合がありますが機械の故障ではありません。

（１）２つ折りにした用紙を給紙テーブルにのせ、用紙ガイドを密着させて固定します。

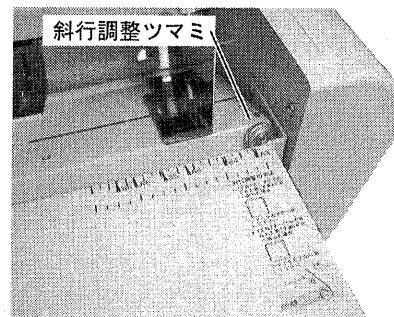
（２）左右の給紙ローラーのネジをプラスドライバーでゆるめて、用紙の両端をおさえる位置にセットします。

（３）補助用紙ガイド右左を用紙サイズの目盛りの位置に置き、先端のベアリングが用紙のふくらみをおさえるようにおきます。

注意！
- ●２つ折りした折り目を手でよくしごきます。
- ●用紙は少な目に積みます。(３０枚以下)
- ●補助用紙ガイドは、用紙ガイドにあたらないように目盛のシールより手前に置きます。

5．4　調整

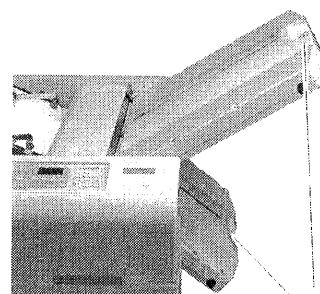
5．4．1　斜行調整

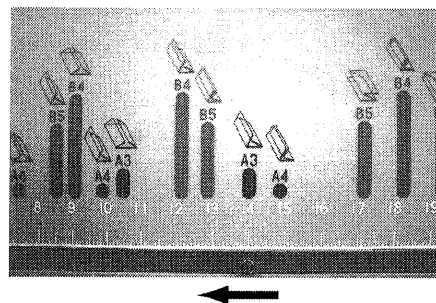
用紙裁断時の曲がり、その他の要因で折り合わせが曲がっている場合は、斜行調整ツマミで曲がりを修整することができます。
排紙された状態のままみて用紙の下面が右へ曲がった場合は斜行調整ツマミを右に、左へ曲がった場合は左にまわしてください。

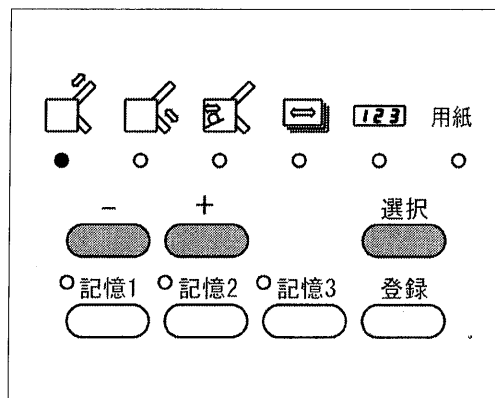
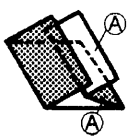
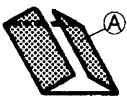
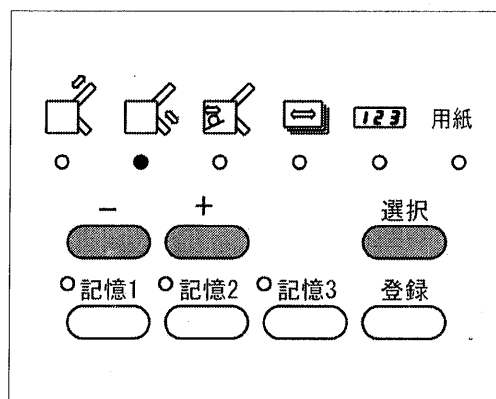
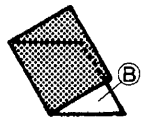
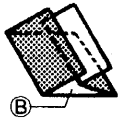
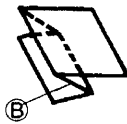
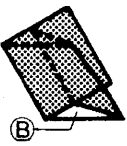
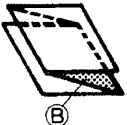
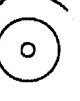
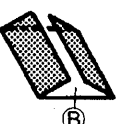
注意！
２つ折り以外の場合はテーブル１で折られた面を下にして斜行調整してください。

5．4．2　微調整

ストッパー微調整ツマミでストッパーを移動させます。

ポイント！
微調整をした直後　→　テストキーを使用
通常　→　スタートキーを使用

微調整をした直後にスタートキーを押すと、微調整を無効にできます。

例：内３つ折りで内側に折れる辺を１mm短くする場合

（１）テーブル１の指針を１mm左に移動します。
（１目盛が１mmです）
（２）テーブル１ストッパー微調整ツマミを左にまわします。

ポイント！
ストッパーの移動量が大きい場合は、+/ーキーを使うと便利です。

テーブル１の場合
（１）選択キーを押して、テーブル１ストッパー移動モードを選択します。
（２）+/ーキーを押して希望の位置へストッパーを移動します。
（ストッパーの位置がカウンタに表示されます）

テーブル２の場合
（１）選択キーを押して、テーブル２ストッパー移動モードを選択します。
（２）+/ーキーを押して希望の位置へストッパーを移動します。
（ストッパーの位置がカウンタに表示されます）

※ ストッパー微調整ツマミでストッパーを移動させて、その折形を記憶させたい場合
→１９ページ「５．５　記憶」参照

テーブル１の微調整

※折形の網掛け部は給紙テーブルに用紙をのせた際の下面を表しています。

折形		折面Ⓐ	テーブル１ストッパー微調整ツマミ
２つ折り	テーブル１を通りません		
４つ折り		長い場合	
		短い場合	
片袖折り		長い場合	
		短い場合	
内３つ折り		長い場合	
		短い場合	
外３つ折り		長い場合	
		短い場合	
観音折り		長い場合	
		短い場合	

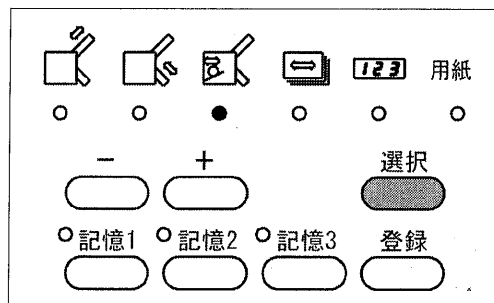
テーブル２の微調整

※折形の網掛け部は給紙テーブルに用紙をのせた際の下面を表しています。

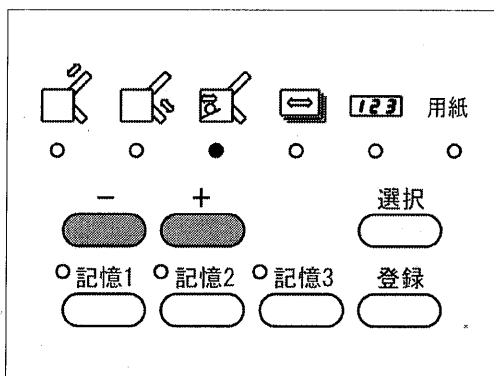
折形		折面Ⓑ	テーブル２ストッパー微調整ツマミ
２つ折り		長い場合	
		短い場合	
４つ折り		長い場合	
		短い場合	
片袖折り		長い場合	
		短い場合	
内３つ折り		長い場合	
		短い場合	
外３つ折り		長い場合	
		短い場合	
観音折り		長い場合	
		短い場合	

5．4．3　排紙ローラーの調整

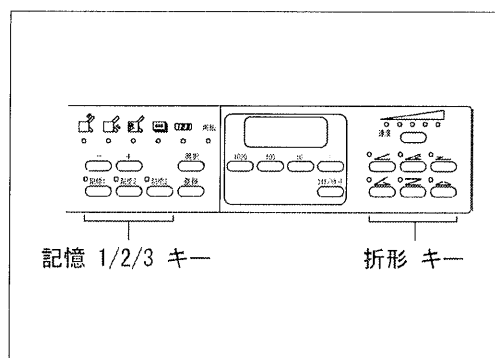
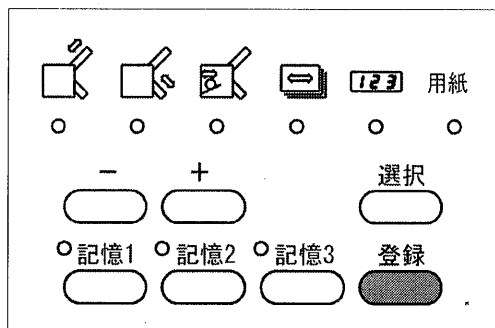
排紙がスムーズにいかない場合に調整をします。

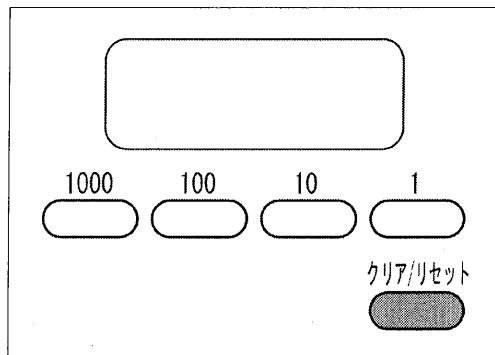
（1）選択キーを押して、排紙ローラー移動モードを選択します。
排紙ローラー移動モードランプが点灯します。

（2）＋／－キーで任意の位置に合わせます。

表示	1	2	3
規格用紙	A３	B４・A４	B５・A５・B６
規格外用紙	任意の位置に設定		

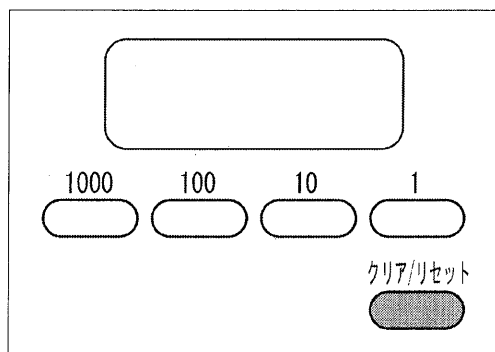
※排紙がスムーズに流れない場合は折り速度が遅くなります。

5．5　記憶

5．5．1　記憶

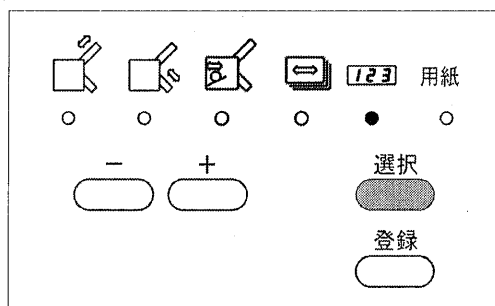
●電源を切ると機械は初期化しますので、微調整後は記憶をしてください。記憶すると初期化してもまた呼び出すことができます。
●変形折りや規格外用紙は記憶 1/2/3 キーのいずれかを使用してください。それ以外は折形キーを使用してください。
●ひとつの折形キーに対して規格用紙 6 種類分の記憶容量があります。（記憶容量：６×６＝３６）
●記憶内容はテーブル１・２ストッパー位置、排紙ローラー位置、折り速度です。

（1）希望の折りができるように、あらかじめ準備しておきます。
（2）記憶を割り付けるキーを選択します。
登録キーを押し続け、アラームが１回鳴ったらすぐ離します。
（3）記憶したキーはランプが点滅します。
（4）記憶を呼び出すときは、記憶しておいたキーを選択してからテストキー又はスタート/ストップキーを押します。

5．5．2　記憶解除

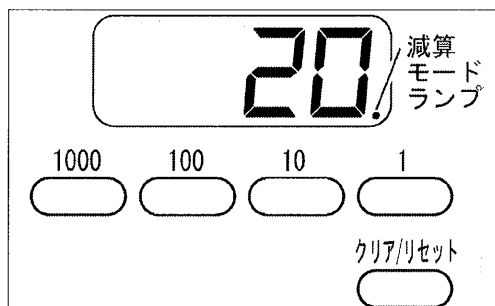
キーの記憶を解除します。
ポイント！
メーカー設定の定形折りができるようになります。
（１）記憶解除するキーを選択します。
ポイント！
記憶しているキーは、ランプが点滅します。
（２）クリア/リセットキーを押し続けて、アラームが１回鳴ったらすぐ離します。
記憶解除したキーはランプが点滅から点灯に変わります。

5．5．3　全記憶解除

すべてのキーの記憶を解除します。
ポイント！
メーカー設定の定形折りができるようになります。
（１）クリア/リセットキーを押し続けて、アラームが２回鳴ったらすぐ離します。

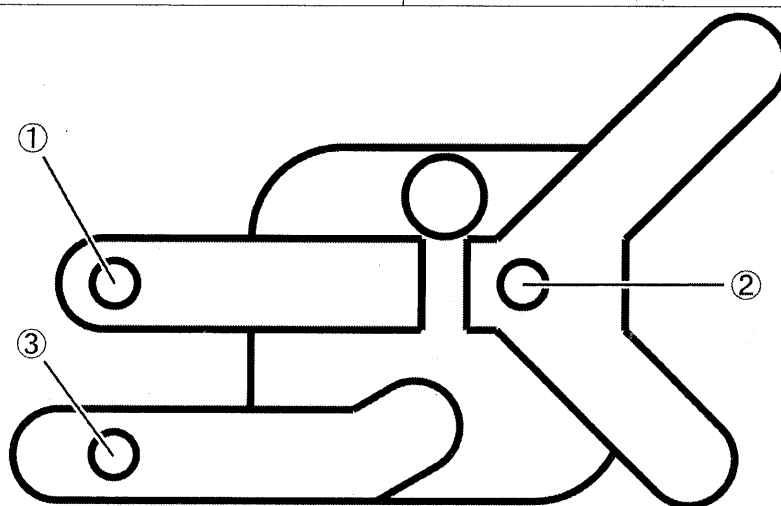
（２）記憶解除したキーはランプが点滅から点灯に変わります。

5．6　カウンタ

１枚折るごとに、カウンタが－１します。

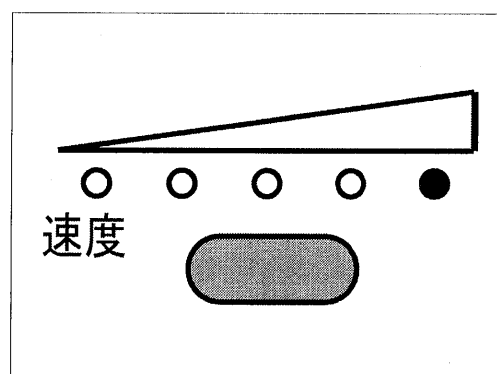
（１）選択キーを押して、カウンタ入力モードを選択します
カウンタ入力モードランプが点灯します。

（２）希望の枚数を数字キーで入力します。
（ここでは２０枚とします。）
減算モードランプが点灯します。

●加算モードにするには、クリア／リセットキーを押せば減算モードランプが消灯し、加算モードになります。

5．7　点検ランプ

機械に異常があると、ランプが点滅します。

場所	意味	対策
①	用紙がない、用紙が浮いている	・用紙を追加する、用紙を積み直す
②	給紙スリップ	・２５ページ「７．１トラブル内容と処置」参照
	紙詰まり	・用紙を取り除く
	ストッパー微調整ツマミがまわらない	・テーブル１・２のセット確認 ・テーブル１・２ソケットの差し込み確認 ・微調整ツマミをストッパーが中央方向にくるように4、５回転してから電源を入れる
③	排紙テーブルがいっぱい	・用紙を取り除く
	機械内部に用紙が詰まっている	・用紙を取り除く ・排紙ローラーの位置をかえてみる

5．8　速度調整

次の場合に速度調整キーで速度を調整してみてください。
左のランプへいくほど遅くなり、右のランプへいくほど速くなります。

●更紙などやわらかい用紙でシワが出たり、斜行が出る場合は遅くしてください。
●動作音を小さくしたい場合は遅くしてください。
●厚口の用紙で紙詰まりが発生する場合は速くしてください。

注意！

速度を変化させた後は、微調整が必要になります。

→１５ページ「５．４．２　微調整」参照

6．　保守・点検・消耗品

6．1　点検・お手入れ時の注意事項

⚠ 警　告

点検・手入れ時には電源プラグをコンセントから抜いてください。
けが・感電の恐れがあります。

6．2　日常のお手入れ

●折りローラーに紙粉やホコリがたまると紙折りに支障をきたす場合があるので、使用しない時は機械カバーをかけてください。

●折りローラーに紙粉及び印刷物のインクが付着するとシワ、紙詰まり等トラブルの原因になるので定期的にゴムローラー専用クリーナー（カタログNo.は裏表紙参照）と布切れを用いて清掃してください。

●折りローラーは１本ずつ、専用クリーナーを浸した布切れで力いっぱいこすり、何も汚れが取れなくなるまで拭いてください。

●紙粉及び印刷物のインク等が給紙ゴムローラーや用紙セパレーターに付着すると給紙性能が低下し、紙詰まりやスリップの原因になるのでクリーニングキット(カタログNo.は裏表紙参照)を用いて清掃をしてください。なお、給紙ゴムローラーは摩耗していなくても指定年月経過したら新品と交換してください。

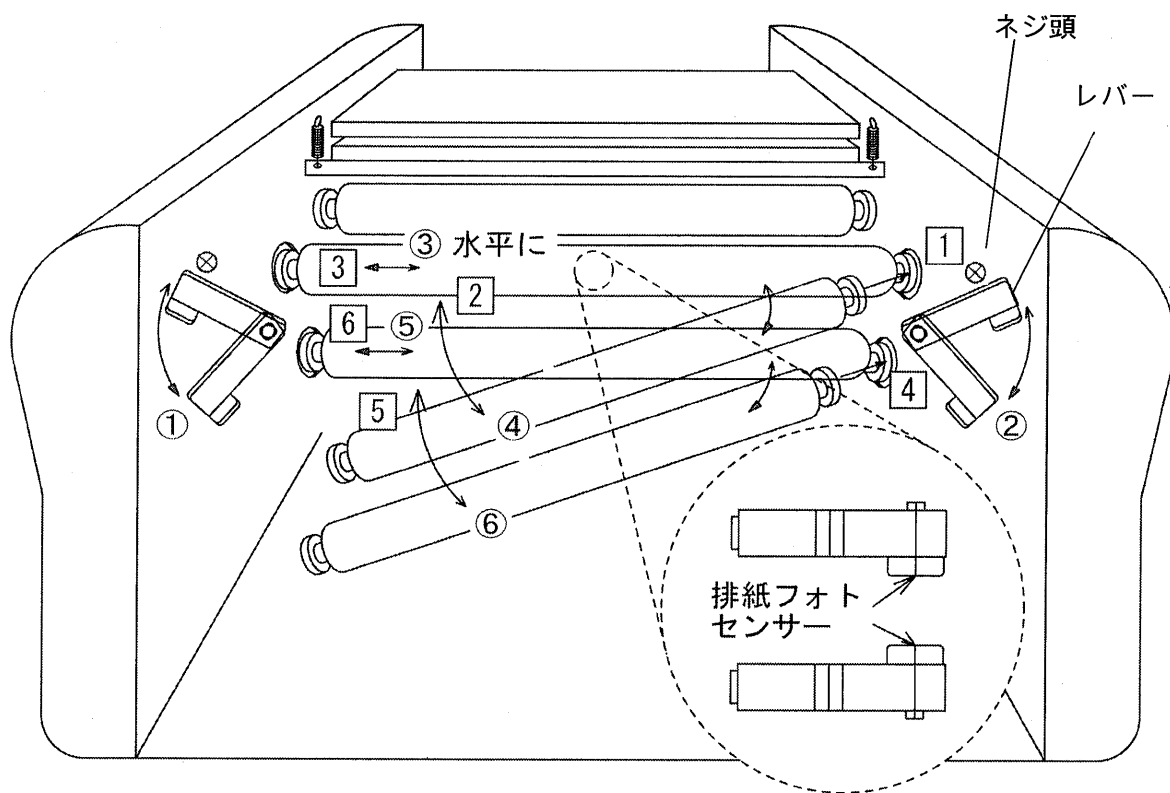
●外装部の汚れはアルコール又は清掃用クリーナーを使用してください。
溶剤系の洗浄液は変色の原因になるので使用しないでください。

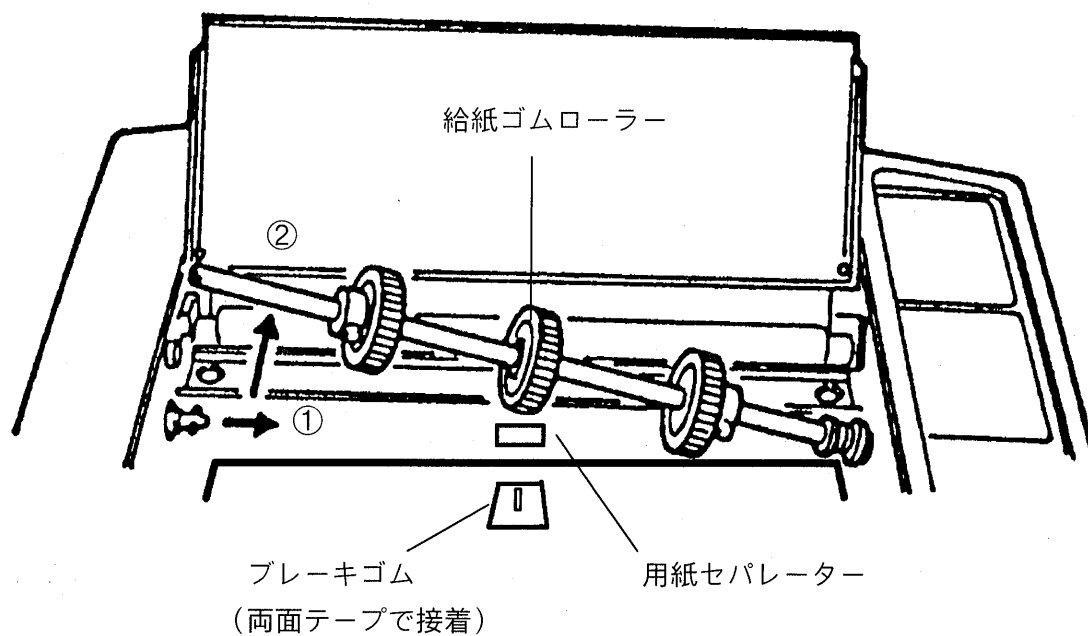
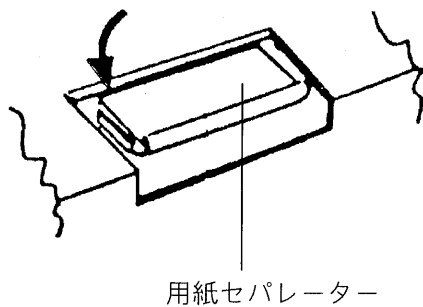
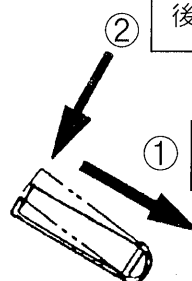
6．3　消耗品について

製品に使用されている給紙ゴムローラー、ブレーキゴム、用紙セパレーターは消耗品です。
交換が必要な場合は、お買い求めの販売店または裏表紙に掲載されているところまでご連絡ください。

6．4　折りローラーの脱着について

工具を使用しないで２本の折りローラーを脱着することができます。折りローラーや排紙フォトセンサーの清掃が簡単になります。
残りの２本のローラーは、脱着できないので少しずつまわしながら清掃します。
外し方：電源プラグをコンセントから抜いてください。①から⑥の矢印の順に作業します。
着け方：[1]から[6]の矢印の順に作業します。

ポイント！
確実にセットされている場合は、レバー（黒色）がネジ頭に触れている状態が正しいセット状態です。
隙間がある場合は、もう一度ローラーを水平にして左に移動してから右に移動するようにしてください。
注意！
確実に折りローラーをはめないと故障の原因になります。はめられない場合は裏表紙に掲載されているところまでご連絡ください。

排紙フォトセンサーは、矢印の面に付着した紙粉をやわらかい綿棒で取除いてください。

6．5　用紙セパレーター・給紙ゴムローラー・ブレーキゴムの脱着について

用紙セパレーターの取外し

用紙セパレーターの取付け

7.　トラブル時の処置

7.1　トラブルの内容と処置

現　象	原　因	処　置	参照
折りずれが生じる	微調整がされていない	微調整ツマミで折りずれ修整	5.4　調整
	途中で処理速度を変えた	処理速度は一定にする	
	折りローラーが汚れている	折りローラー清掃	6.　保守・点検・消耗品
	用紙ガイドのセットが曲がっていて固定されている又は用紙に密着していない	用紙ガイドを用紙に密着させる	
	給紙テーブルが曲がっている	斜行調整ツマミで給紙テーブルをまっすぐにする	5.4.1　斜行調整
	用紙の裁断が曲がっている	斜行調整ツマミで調整する	
	更紙など薄口で反っている用紙を使用している	用紙交換または（可能であれば）裏返す	
紙詰まりが多発する	折りローラーが汚れている	折りローラー清掃	6.　保守・点検・消耗品
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	厚口の用紙を速度を遅くして使用している	速度を速くする	5.8　速度調整
	テーブル1・2が正しくセットされていない	テーブル1・2を正しくセットする	4.1　付属品を取付ける
	用紙通過部に紙片が詰まっている	各部点検し紙片を取り除く	
	給紙ローラーが汚れている	給紙ローラー清掃	6.　保守・点検・消耗品
	静電気の異常発生	市販の静電気除去スプレーを吹きかける	
スタートキーを押しても給紙しない	給紙テーブル上に用紙がない、少ない	給紙テーブル上に用紙をのせる	
	ローラーカバーが開いている	ローラーカバーを閉じる	
	排紙フォトセンサーが汚れている	排紙フォトセンサー清掃	6.　保守・点検・消耗品
シワが生じる	折りローラーに紙片が巻きついている	テーブル1・2を外して折りローラーの紙片を取り除く	
	折りローラーが汚れている	折りローラー清掃	6.　保守・点検・消耗品
	横目の用紙及びコシの弱い用紙を使用している	処理速度を遅くする	5.8　速度調整
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	薄口で反っている用紙を使用している	用紙交換または（可能であれば）裏返す	

電源スイッチをＯＮしても電源が入らない	電源コードのプラグが外れている	電源コードのプラグを確実に差し込む	4.1　付属品を取付ける
	ブレーカが働いている	紙詰まり等の原因を取除いてからブレーカボタンを押す	2.1　外観
ストッパーが移動しない	ストッパーが原点方向または長い方向に行き過ぎてロックしている	微調整ツマミをストッパーが中央方向にくるように4、5回転する	5.7　点検ランプ
	テーブル１・２のソケットが外れている	ソケットを確実に差し込む	4.1　付属品を取付ける
	テーブル１・２内で紙詰まり	テーブル１・２を外し紙を取り除く	
排紙ジャムが多発する	排紙ローラーの位置が用紙サイズに適した位置にセットされていない	排紙ローラーを最適な位置にセットする	5.4.3　排紙ローラーの調整
	排紙満杯	用紙を取り除く	
給紙スリップが多発する	給紙ローラーが摩耗している	給紙ローラー交換	
	給紙ローラーに紙粉やインクの汚れがある	給紙ローラー清掃	6.　保守・点検・消耗品
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	用紙セパレーターが汚れている	用紙セパレーター清掃	6.　保守・点検・消耗品
重送が多発する	用紙セパレーターが摩耗している	用紙セパレーター交換	6.　保守・点検・消耗品
	用紙セパレーターが汚れている	用紙セパレーター清掃	6.　保守・点検・消耗品
	印刷済用紙が密着している	用紙をよくさばいて再セット	
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
紙折れが生じる	用紙のカールが大きすぎる	カールを矯正	
	微調整が正しくセットされていない	微調整を正しくセット	5.4.2　微調整
	テーブル１・２が正しくセットされていない	テーブル１・２を正しくセットする	4.1　付属品を取付ける

７．２　故障の場合

修理が必要な場合は、お買い求めの販売店または裏表紙に掲載されているところまでご連絡ください。

8．　移設または廃棄するとき

8．1　移設

8．1．1　旧設置場所からの撤去作業

●電源スイッチを切る。

●電源プラグをコンセントから抜きとる。

●テーブル１・２を外す。

●補助テーブルをしまう。

●排紙テーブルをしまう。

8．1．2　運搬

●取り外した部品や付属品、取扱説明書を一緒に運ぶ。
●強い振動や衝撃を与えないようにする。
●保護手袋をし、２人で底面４隅をしっかり持って運搬する。

8．1．3　移設先での設置

●新設の場所と同様、すべての作業を行ってください。

8．2　廃棄

廃棄する際は、各地方自治体の政令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど、適切な処理をしてください。

９．　製品仕様

９．１　仕様

用紙寸法	Ｂ７（９１×１２８㎜）～Ａ３（２９７×４３２㎜） ※Ｂ７は２つ折りのみ、Ｂ６は観音折り不可
用紙質量	４５～１０５g／㎡（２つ折りのみ１５２g／㎡） ４０～９０kg（２つ折りのみ１３５kg） （目安：コピー用紙は５５kg）
紙質	更紙・上質紙・上質孔版紙・中質紙
折形	２つ折り・４つ折り・片袖折り・内３つ折り・外３つ折り・観音折り・その他変形折り・２回折りによるクロス折り
折り寸法	最大折り寸法 テーブル１：３３０㎜（４つ折り・片袖折り・外３つ折り） テーブル２：２２４㎜（２つ折り・内３つ折り・観音折り）
	最小折り寸法 テーブル１：５０㎜（内３つ折り・観音折り） テーブル２：４０㎜（２つ折り・４つ折り・片袖折り・外３つ折り）
給紙方式	３輪式サバキ方式
給紙積載量	５００枚（上質紙６４g／㎡・上質紙５５Kg）
処理速度	３３００～１００８０枚／時（Ａ４　２つ折り時） ２６４０～　８６４０枚／時（Ｂ４　２つ折り時）
操作方式	デジタルキー・自動設定（マイコン内蔵による）
付加機能	斜行調整・紙詰まり検知・４桁カウンタ（加算・減算モード・オートリピート付）・用紙サイズの自動検出（Ａ３，Ｂ４，Ａ４，Ｂ５，Ａ５，Ｂ６）・クロス折り用補助用紙ガイド付 給紙テーブル自動昇降 排紙ローラー３段階位置自動切換え 用紙サイズ入力による折り位置自動設定 微調整の記憶３６通り（６種類の用紙サイズ×６種類の折形） 特殊折り登録３通り オプションでミシンユニット装着可能
消費電力	７５Ｗ
使用電源	１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
機械寸法	Ｗ８７０×Ｄ５３０×Ｈ５２０㎜（使用時） Ｗ６６０×Ｄ５３０×Ｈ５２０㎜（収納時）
機械質量	３３．５kg
オプション	ミシンユニット

本機の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

取扱説明書

この「取扱説明書」はいつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。
また、この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店か当社営業担当者、又はお客様相談センターまでご連絡して、内容を確認のうえ請求してください。
この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。

●故障の場合
修理が必要な故障の場合は、販売店または当社営業担当者及び以下のウチダテクノまでご連絡ください。

■株式会社ウチダテクノ

部門・部課名	〒	所在地	TEL	FAX
東京	116-0011	東京都荒川区西尾久 4-25-3　2F	(03)5901-2171	(03)3894-2305
大阪	540-8520	大阪市中央区和泉町 2-2-2 ㈱内田洋行内 3F	(06)6920-2446	(06)6920-2498
札幌	060-0041	北海道札幌市中央区北 1 条東 4-1-1 サッポロファクトリー㈱内田洋行内 1F	(011)241-2825	(011)241-2827
福岡	812-0008	福岡県福岡市博多区東光 2-10-11	(092)476-5011	(092)476-5009
名古屋	460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内 2-4-20	(052)220-5270	(052)222-7640

●商品に関するお問合わせ先
お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-077-266

●クリーナー
注文番号：1-141-0074　ゴムローラー専用クリーナー